

(一般質問)

質問日	令和5年11月30日(木)		質問方式	分割方式			
質問順位	1	会派名	市民クラブ	議席番号	38	氏名	北野谷 富子
表題	質問内容						答弁者の職名
1 少子化対策について (1) 今後の展開について (2) 多子世帯の保育料負担軽減について	(1) 本市における令和3年の合計特殊出生率は1.37と全国平均1.30を上回っているものの、浜松市“やらまいか”人口ビジョンの目標値1.68を大きく下回っている。 市長は少子化対策を重点施策としているが、今後、どのように取り組んでいくのか考えを伺う。 (2) 子育てに差があってはならないと考える。私の世代では、第2子以降の保育料を無償化してほしいとの声を聴く。多様化している家庭環境に対応していくため、上の子供の年齢に関わらず、保育料多子軽減の年齢制限撤廃を市独自で実施すべきと考えるが、どうか伺う。						中野市長 吉積こども家庭部長
2 学校教育について (1) 不登校支援について (2) 教職員の確保について (3) 学校側の柔軟な対応について	(1) 学習についていけない、先生と合わない、友達と合わない、大人数が苦手など、学校に行きたくても行けない、または行かないことを選択した児童・生徒は過去最高の人数となっている。 そこで、本市として学校に行けない理由が多様化している児童・生徒の支援について、学校内での取組や義務教育後の進路の情報の提供など考えを伺う。 (2) 一人一人の児童・生徒に向き合う時間を確保するために、教職員の確保は必須だと考える。「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」で定められている定数だけではなく、そこからさらに人材を増やしていくことが求められている。 そこで、以下伺う。 ア 定年前に短時間勤務を希望する教職員を調査し、再任用短時間勤務の教職員を定数内ではなく、定数外として採用すべきと考えるが、どうか伺う。 イ 現在、年度途中の産休・育休や休職による欠員に対するの補充は学校側の人と人のつながりで何とか確保している現状である。退職者を含めた希望者の細かなニーズと学校側のニーズを把握し、マッチングさせる体制を構築していく必要があると思うが伺う。 (3) 通常学級にも多様な児童・生徒が通っている。その一人一人に目を向け、自己肯定感を向上させる声掛けや、主体的に行動できるような導き、さらには少し学習に不安がある子供を抽出して支援するなど、先生の役割は重						宮崎教育長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>要である。児童・生徒に向き合う時間を少しでも多く確保し、個人に合った支援を充実させるための学校側の柔軟な対応が求められている。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>ア 1学級における下限の撤廃について伺う。</p> <p>イ 学習障害等に係る通級指導教室の拡充について伺う。</p>	
<p>3 佐久間分校との連携について</p>	<p>県立浜松湖北高校佐久間分校は、佐久間中学校との連携型中高一貫教育に取り組んでおり、これまで佐久間・水窪地域の生徒の進路先として地域人材を輩出してきた。</p> <p>平成30年に静岡県教育委員会が策定した「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」では、1学級規模の分校等にあっては、2年連続して入学者が15人を下回った場合、高等学校教育の質の保障の観点から募集を停止するとされている。</p> <p>今年度まで、地域の協力などにより生徒を確保してきたが、少子化の影響で今後生徒の確保が厳しい状況となることが予測されている。</p> <p>中山間地域における高等学校の存続は、子供たちの学ぶ機会の保障や地域振興などの観点からも重要であると考えます。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 連携型中高一貫教育や佐久間分校への入学者確保に向けた取組状況について伺う。</p> <p>(2) 地域振興に欠かすことのできない佐久間分校と連携した地域の活動について伺う。</p>	<p>宮崎教育長</p> <p>新谷市民部長</p>
<p>4 小・中学校体育館への空調設備設置について</p>	<p>昨今の気候変動の影響により、2学期に入っても猛暑が続き、子供たちの学びにも影響が出ている。例えば、屋外や体育館で行うことの多い体育の授業では、暑さ指数に応じて別の教科に振り替えたり、授業が実施できても運動量を確保することができず、身につけさせたい力を十分に身につけさせることができなかつたりしている現状がある。子供たちの豊かな学びを保障するという視点だけでなく、地域住民の生涯スポーツの場であるということや、有事の際の避難所になるという視点からも、小・中学校の体育館への空調設備設置は急務であると考えますが、どうか伺う。</p>	<p>奥家学校教育部長</p>
<p>5 社会的養護の推進について</p>		<p>吉積こども家庭部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(1) 専門里親について</p> <p>(2) 施設退所後のアフターケアについて</p>	<p>(1) 本市においては、保護者から適切な養育が受けられない、保護者がいない、障害を持っている等の事情により里親のもとで暮らす児童は、昨年度末で 50 人程度いる。そうした児童を預かる里親は、真摯に里子へ向き合い、家族再統合や自立支援へつながる家庭的養護の役割を担っている。</p> <p>里親の種類は、養育里親、専門里親、養子縁組里親、親族里親の 4 つがある。その中で、専門里親については、養育里親の経験があり、より専門的な研修を受講し、深刻な虐待を受けた児童や非行等の問題を抱える児童、何らかの障害を持つ児童など、一定の専門的ケアを必要とする児童を養育している。</p> <p>養育里親の中にも専門里親と同様の支援をしている里親がおり、その方々にも専門里親となって活躍してもらえるように制度を周知するなど、専門里親を増やす考えはないか伺う。</p> <p>(2) 施設を退所してから、お世話になった施設の職員に、就職した喜びや社会での出来事を報告したいと思う子供は多い。しかし、忙しそうな職員の事を思って遠慮がちで、実際に来所する子供は限られている。また、退所した施設以外の相談機関では相談することに不安を抱える子供もいると聞く。アフターケア事業の現状と、子供たちが相談しやすいように充実させていく考えはないか伺う。</p>	
<p>6 豪雨に強いまちづくりについて</p>	<p>近年、台風や大雨による水害が激甚化・頻発化している。特に、昨年 9 月の台風第 15 号、今年 6 月の台風第 2 号により、これまで経験しなかった浸水被害が起きている。</p> <p>浜北区の準用河川「有隣川」と二級河川「馬込川」に挟まれた下善地区においても、浸水被害は深刻である。先般の議会質問でも治水の話題が相次いだ。下善地区における治水対策について、以下伺う。</p> <p>(1) 「浜松市総合雨水対策計画」では 12 か所の重点対策エリアを設けているが、「有隣川」流域はこの 12 か所に含まれていない。この流域では近年、深刻な被害が相次いでおり、治水対策を進めていくべきと考えるが、重点対策エリアの設定について伺う。</p> <p>(2) 有隣川の具体的な治水対策について伺う。</p>	伏木土木部長
<p>7 インクルーシブ遊具の拡充について</p>	<p>浜北区の西中瀬中央公園にインクルーシブ遊具を設置してから約 1 年が経過し、市民からは他の地域でもインクルーシブ遊具を設置できないかという声が届いている。今後、インクルーシブ遊具を設置した公園を増やすことや、既存の公園の遊具改修のタイミング等に地域</p>	中村花みどり 担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	の意向を確認しながら、インクルーシブ遊具の設置を進めてはどうかと考えるが伺う。	
8 スポーツコミッションによる地域振興について	<p>スポーツによる地方創生、まちづくりという観点は非常に重要であり、本市としてもスポーツコミッションの推進を進めてきたところである。しかし、効果として一過性のものが多く、継続的に経済効果・社会的効果を得ることが重要である。令和6年1月に区が再編されることを機に、改めて地域に重点を置き、地域にあるスポーツの力を発掘し、つながりを強化し、新たな地域振興の形を構築していくべきと考える。</p> <p>そこで、スポーツの力を活用したスポーツによる地域振興を促進するための考えを伺う。</p>	嶋野文化振興 担当部長